

き・ず・な通信



仙台市立小松島小学校
令和5年 10月4日
第7号

きみたちは ずっと なかま

9月19日から9月28日にかけて、縦割り学年で「あいさつ運動」が行われました。様々な活動をクラスごとに考えて行いました。学級活動でどのような挨拶をしていくかを学級全体で話し合う様子や、朝の時間に人通りの多い廊下に立って、元気よく挨拶をする子供たちの姿が見られました。

「相手の目を見て聞こえる大きさと挨拶をすることを頑張った。」「学級で決めた挨拶を一人一人できた。」「これからは、他学年の人にも聞こえる声で挨拶したいです。」など、「あいさつ運動」に参加した児童一人一人が進んで挨拶をする心地よさを感じられたようです。これからも進んで挨拶をする姿が見られるといいですね。

ふわふわ言葉に言い換えてみると・・・



小松島小学校では、相手を思いやる言葉や優しい言葉掛けのことを「ふわふわ言葉」と呼んでいます。助け合い委員会では、9月の委員会活動の中で、普段つい使ってしまう言葉や表現を「ふわふわ言葉」に見直してみるという活動を行いました。自分たちの言葉遣いを、振り返ってみる機会にもなったようです。

あまりよくない言葉も・・・



めくると・・・



すてきな言葉になります！！

子供たちは、自分が言い換えたらどうなるかを予想して、喜んでめくっています。助け合い委員会の児童が作ったこの掲示物は、職員室前にあります。来校された際には、ぜひ中をめくってみて下さい。私たち教員も、リフレーミング（言葉の言い換え）を活用して、子供たちの良い面に目を向けていきたいと思っています。

「き・ず・な通信」では、いじめ防止の取組や児童の様子などを保護者及び地域の皆様にお知らせしていきます。ご意見は、担任または教頭（伊藤）、主幹教諭（村上）までお知らせください。